

九
州

支局

佐北西語九編集

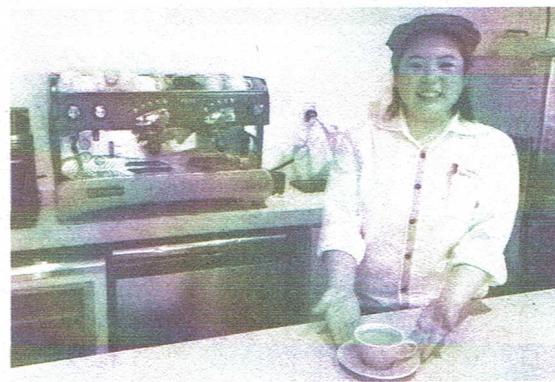
熊大長
本分崎
000
999
675
- - -
358
632
422
- - -
641
697
030
827

那鹿宮
兒島崎
霸
000
999
898
- - 5
821
622
221
- - 1
022
137
425
824

Aあおぞら（あおぞら農業協同組合、藤田浩人理事長）が管内農産物のブランド力向上に取り組んでいる。柱が農業と製造業、流通業を融合させる「6次産業化」だ。直営の物産館を8月2日に緑茶などのアソテナショップとして新装開業。サツマイモは干し芋に加工し、通信販売している。「当JAのブランド緑茶『うるわし和茶』は静岡や京都などの産地に味や品質で負けていない自信がある。国内外の消費者に緑茶の新しい飲み方や食べ方などをアピールする拠点にしたい」。藤

緑茶カフェ・干し芋ネット通販…

「グリーンティーカフェ」ではエスプレッソマシンで抽出した緑茶を楽しめる（鹿児島県志布志市）



鹿児島のJAあおぞら

蕎麦(そば) あおぞら
が入居。繁盛店の経験を持つ外食経営者がプロデュース・指導している。
緑茶の価格低迷を受け、JAあおぞらは海外も含めた需要喚起に力を入れている。昨年9月にイスラム教の戒律に沿っていることを示す「ハラル認証」を緑茶で取得。11月には中東の食品展覧会「SIAL ミドルエースト」で「イノベーション賞」を受賞した。

そうした経緯を踏まえ、
グリーンティーカフェは
フランチャイズチェーン
(FC)なども含めて国
内外で店舗展開。原料供
給につながる仕組みを整
えたいと考えだ。

勝負だ」（藤井）
という。7月には公
ト「あおぞらの
開設。全国の
Aあおぞらの
芋をパソコン
フォン経由で
るようにして
長は「當農に
り組むのが
姿。自分た
部分はコンサ

式通販サイ
ニ二丁目」も、志布志市では同市やJ
の消費者がJ
の緑茶や干し
やスマート
手軽に買え
る。
した藤田理事
にしつかり取
JA本来の組合
つある。農業の競争力強化を目指す改正農業協同
化をめざして、JAは今後、地域農業の活性化をめざす取り組みを進めていく方針だ。

農業の6次化に懸ける

田理事長は力を込める
10年の節目にリニューアル
アルした「あおぞら一
目」は地元の農産物を生
つた料理を味わえるのが

特徴だ。エスプレッソ風など)やレモネード風など)で緑茶を提供する「グリーンティーカフェ」や、高級焼き肉も楽しめる「十割使

同JAの取締役・茶業のブランド名で売っている。センター長は言う。「製品の特徴をきちんと伝えれば、海外でも需要は作り出せると確信した」。の付加価値向上につなげ組みも組合員の所得向上や地域の雇用増、農産物販

コ
アクリ・エナ
京都三鷹市
代表取締役
クスホール
(東京・港)

ジャイズ(東)の秋竹慎一
や、セリユツ
ディングス
の執行役員
の執行役員
（鹿児島支局長）
松尾哲司

コンサルの力も借り製販

ようとしており「今年が勝負だ」（藤田理事長）といふ。輔氏らが同JAの取り組